

# 言語活動をベースとした授業づくり

【越谷市教育委員会】

1 学校、学年、教科 小学校、1～6年、国語

2 ねらい

(1) 言語活動をベースとした授業づくりを展開することで児童の学力向上につなげる。

3 市内小学校の事例

(1) 学力向上に向けた検証改善サイクルの構築

## Plan 「学力向上をめざす授業づくり」

### ○「当たり前」の共通理解、共通行動

- ・ 児童の実態分析と課題把握
- ・ 目指す姿、目標の設定
- ・ 言語活動をベースとした授業づくり
- ・ 学力向上に向けた学校課題解決プランの共通理解（全体計画、年間計画、PDCAプラン）
- ・ 教材分析検討会の実施
- ・ 越谷市教育委員会との連携
- ・ 一時間ごとに身に付けさせたい力の明確化
- ・ 指導力向上につながる授業研究会の実施
- ・ ICT機器の効果的活用方法の研究
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化
- ・ 児童の学習意欲を高める工夫
- ・ 基礎基本の確実な定着
- ・ 家庭との連携

## Do 「全員研究授業の実践」

### ○一時間一時間を大切にした授業実践

- ・ 指導力向上を目指し、全員が研究授業を実施
- ・ 読み取ったこと、理解したことをノートにまとめ、論理的に根拠を持って説明する活動の展開
- ・ 学年会及び専門部会を充実させ、プラン内容および目指す方向性の共通理解
- ・ 指導内容に応じた教材・教具の分析・準備
- ・ 学年別教材分析研修会及び指導案検討会の実施
- ・ 週案の効果的活用（児童に身につけさせたい力や方策等の記載）
- ・ 言語活動の充実を視点とした授業参観および研究協議の実施
- ・ 国語デジタル教科書及びICT機器の効果的活用
- ・ 個に応じた指導の充実、発問、板書の研究
- ・ 意欲化を図るノートや掲示物へのコメント記載
- ・ 基礎基本定着のための繰り返し学習の充実
- ・ 家族読書の推進、「家庭学習のすすめ」の配布
- ・ 学習の足跡が分かる板書や掲示の工夫、全校俳句の実践、ことばを扱った新聞記事等の掲示



足跡が分かる板書



書く時間の確保

## Action 「評価分析と改善策の策定」

### ○学校評価分析と学校課題解決プランの改善

- ・ 学校評価内容を踏まえた改善策の策定
- ・ 学力向上に向けた学校課題解決プラン（年間計画、全体計画、PDCAサイクル）の見直し
- ・ 課題解決に向けた具体的方策の決定
- ・ 効果のあった「言語活動」及び「ICT機器活用」の年間指導計画への位置づけ
- ・ 「授業づくり・心づくり・規範づくり」リーフレットを活用した自己評価及び授業改善



越谷教育リーフレット



教師の自己評価シート

## Check 「日々の授業実践の分析」

### ○指導力向上に生かすための評価の実施

- ・ 研究授業、研究協議のもち方の検証
- ・ 指導力向上、学力向上に向けた実践の検証
- ・ 埼玉県学習状況調査、教育に関する3つの達成目標、観点別テスト等の効果及び変容の検証
- ・ 学力向上に向けた学校課題解決プランの検証
- ・ 児童の意識調査の効果及び変容の検証
- ・ 分析支援プログラムを活用したクロス集計検証
- ・ 日々の児童の様子やノートの内容の検証

## (2) 思考力・判断力・表現力の育成



### 調べ学習の充実

資料や文章を読んで情報を取り出す、取り出した情報を基に考えるなどの調べ学習を各教科の教材に応じて適切に設定する。調べ学習で、思考力・判断力を育てる。



### 意見交換の活発化

自分の考えを広い視野から深め合う機会を設定する。自分の考えに必要な言語を用いて、他者と効果的に伝え合い、他者の意見からさらに自分の考えを深めさせる。



### 考えの根拠の明確化

事実の記録、描写、報告等の学習活動で、考えの根拠や論理（推論）を明らかにして、筋道を立てて説明する学習活動を設定し、的確に分かりやすく伝える技能を伸ばす。



### 活動の振り返り、体験の言語化

活動を振り返り、体験を言語化させる指導を取り入れる。「自分は何を伝えたかったのか」、「何が新たに分かったのか」等、明確にさせ、自分の考えを深めさせる。

## 4 成果と課題

学力向上に向けた検証改善サイクルを構築し、プラン内容および目指す方向性の共通理解を図ることで、学年会や専門部会が充実し、言語活動を充実させた授業づくりに全員で取り組むことができた。このことにより、埼玉県学習状況調査の国語の結果においても、昨年度と比較して数値的な伸びも見られた。

今後は、国語科で研修した成果を他教科等にも波及させるため、各教科等の授業においても、記録、要約、描写、説明、論述、発表、報告、話し合いなどを活動の中に取り入れ、言語活動の充実を図ることが課題となる。

よって、全ての教科領域等で言語活動を充実させるために、「学力向上に係る課題解決プラン」に則って、一時間一時間の授業づくりを中核とした学力向上への取組を組織で進めていく。